

「卒業生の就労継続に関する調査」の結果

平成30年12月25日
特別支援教育課

1 調査の概要

知的障がい特別支援学校高等部の在籍者数の増加に伴う就労先の安定的な確保や就労継続の取組に向け、卒業生の退職理由等について職業学科を設置する道立知的障がい特別支援学校22校を対象に実施。

2 調査基準日

平成30年12月1日現在

3 結果

調査票 1 就労継続に向けた取組として教育課程上や進路指導担当者の工夫の状況

1 就労継続に向けた取組として教育課程上、工夫していること（主な取組）

- 教科「職業」において、福祉制度（障害基礎年金や各種手続き）の学習に取り組んでいる。
- 教科「職業」において、就労している卒業生や事業主、ハローワーク職員から話を聞く機会を設けている。
- 総合的な学習の時間において、生活をするのに必要な経費の学習に取り組んでいる。
- 地元の企業と連携したデュアルシステムによる実習に取り組んでいる。

2 就労継続に向けた取組として進路指導担当者が工夫していること（主な取組）

- 障がい者就業・生活支援センター等、関係機関が実施する会議に参加している。
- 近隣の特別支援学校の進路担当者や連携し、情報を共有している。
- 個別の移行支援計画を用いて、就業前に関係者が一堂に会してケア会議を実施している。
- 当該生徒の生活面や作業面はもとより、家庭環境を把握した上で進路指導を行っている。

3 就労継続に向け、今後、学校が必要と考 えている取組（主なもの）

- 卒業生からの情報^{そつぎょうせい}を参考^{じょうほう}にした指導^{さんこう}内容^{しどうないよう}の改善^{かいぜん}。
- 生徒^{せいと}と事業主^{じぎょうぬし}が交流^{こうりゅう}できるよう、学校^{がっこう}主催^{しゅさい}の企業^{きぎょう}説明会^{せつめいかい}の実施^{じっし}。
- 保護者^{ほごしゃ}を対象^{たいしょう}とした福祉^{ふくし}制度^{せいど}や就労^{しゅうろう}に関わ^{かか}る研修会^{けんしゅうかい}の実施^{じっし}。
- 養育^{よういく}能力^{のうりよく}が課題^{かだい}となる家庭^{かてい}への支援^{しえん}。

4 就労継続に向けた道教委^{どうきょうい}の施策^{せさく}として希望^{きぼう}すること（主なもの）

- 進路^{しんろ}担当^{たんとう}者を対象^{たいしょう}とした研修会^{けんしゅうかい}の実施^{じっし}。
- 教育^{きょういく}・福祉^{ふくし}が連携^{れんけい}した雇用^{こよう}促進^{そくしん}のための施策^{せさく}の充^{じゅう}実^{じつ}。
- 中学校^{ちゅうがっこう}教員^{きょういん}に高等^{こうとう}支援^{しえん}学校^{がっこう}の就労^{しゅうろう}に向けた取組^{とりくみ}など、教育^{きょういく}内容をより理解^{りかい}してもらえる場^ばの設^せ定^{てい}。
- 就労^{しゅうろう}継続^{けいぞく}に向けた好事例^{こうじれい}の紹^{しょう}介^{かい}。

【参考】職業学科を設置する知的障がい特別支援学校の卒業生645人のうち282人（43.7%）が就職。そのうち、平成30年12月1日現在48人（17.0%）が離職。

1 離職者の雇用形態

- 常用パート 54.2% (26人/48人)
- 契約社員 18.8% (9人/48人)
- 就労継続支援A型 18.8% (9人/48人)
- 正社員 8.3% (4人/48人)

2 離職した職種

- 卸売業、小売業 22.9% (11人/48人)
- 製造業 22.9% (11人/48人)
- 宿泊業、飲食サービス業 12.5% (6人/48人)
- 医療・福祉 6.2% (3人/48人)
- 農業・林業 4.2% (2人/48人)
- サービス業 4.2% (2人/48人)
- 無記入 10.4% (5人/48人)
- その他 16.7% (8人/48人)

3 就労継続支援A型で就労し、離職した者の雇用形態

(1) 勤務日数

- 週5日 88.9% (8人/9人)
- 週3~4日 11.1% (1人/9人)

(2) 勤務時間

- 4時間 55.6% (5人/9人)
- 5~7時間 33.3% (3人/9人)
- 8時間 11.1% (1人/9人)
- 1~3時間 11.1% (1人/9人)

4 相談の状況

(1) 相談者の有無

- いる 85.4% (41人/48人)
- いない 12.5% (6人/48人)
- 無回答 2.1% (1人/48人)

(2) 相談相手

- 家族 48.8% (20人/41人)
- 出身校の担任等 43.9% (18人/41人)
- 障がい者就業・生活支援センター等の関係機関 41.5% (17人/41人)
- 友人 36.6% (15人/41人)
- その他 17.1% (7人/41人)

5 退職した理由 (複数回答※主なもの)

- 職場で人間関係が築けなかった 47.9% (23人/48人)
- 新しい仕事に興味をもった 33.3% (16人/48人)
- 仕事内容に不満があった 29.2% (14人/48人)
- 給与や待遇への不満があった 18.8% (9人/48人)
- 生活する場での適応が困難になった 14.6% (7人/48人)

6 再就職さいしゅうしょく

(1) 再就職さいしゅうしょくした者もの

○ 再就職者数さいしゅうしょくしゃすう 56.3% (27人/48人)

(2) 再就職さいしゅうしょくした理由りゆう (複数回答※主なもの)ふくすうかいとう おも

○ 仕事内容に興味があったしごとないよう きょうみ 63.0% (17人/27人)

○ 仕事内容が適しているしごとないよう てき 40.7% (11人/27人)

○ 給与や待遇がよいきゅうよ たいぐう 29.7% (8人/27人)

○ 職場の人間関係がよいしょくば にんげんかんけい 25.9% (7人/27人)

○ 企業側の配慮が充実しているきぎょうがわ はいりよ じゅうじつ 14.8% (4人/27人)